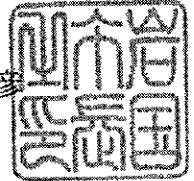


平20都市第1238号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長
金井道夫 殿

岩国市長 福田良彦



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

貴職におかれましては、常日頃から当市への道路事業を推進していただき、誠にありがとうございます。おかげをもちまして、供用開始された国道は当市の発展、活性化に大変寄与しているところでございます。

さて、平成20年9月19日付け国道企第37号でご依頼のありました標記につきまして、別紙のとおり回答いたしますので宜しくお願いします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

山口県岩国市

命をつなぐ

◎ 医療等の救急活動の支援

医療等の救急活動を支援するネットワークを構築し、安心して生活できる環境づくり

- ・ 高規格幹線道路、地域高規格道路等の整備による高度医療施設へのアクセス強化

- ・ 幹線道路等の整備による救急医療施設へのアクセス強化

◎ 道路の信頼性の確保

いざというときにも信頼できる道路ネットワークを構築し、安心・安全の生活環境づくり

- ・ 既存道路施設の防災対策
- ・ 緊急輸送道路における橋梁の耐震対策の推進
- ・ 老朽化した道路施設の修繕・更新

◎ 交通安全対策の推進

効率的な交通安全対策や快適な歩行空間の整備により、安心・安全の生活環境づくり

- ・ 交差点の改良や歩行の整備等による事故危険箇所の解消
- ・ あんしん歩行エリアの整備・推進

暮らしをささえる

◎ 人にやさしい歩行空間の形成

バリアフリー化やユニバーサルデザインに配慮した施設整備を推進し、人にやさしい安全で快適な歩行空間づくり

- ・ 快適な歩行空間の整備
- ・ 電線類の地中化の推進

◎ 効果的な渋滞対策の推進

効果的な渋滞対策の推進により、安全で快適に生活できる環境づくり

- ・ バイパスの整備や交差点改良等により、都市の総合的な渋滞対策の推進

◎ 日常生活の利便性の向上

日常の暮らしを支える生活道路の整備により、快適で利便性の高い生活環境づくり

- ・ 都市部や中山間部などの道路整備による日常生活の利便性の向上

◎ 環境への配慮

道路の質的向上や渋滞対策による沿道環境の改善により、快適に生活できる環境づくり

- ・ 公共交通機関の連携強化
- ・ 道路の質的向上による騒音の軽減
- ・ 渋滞対策等によるCO₂の削減(地球温暖化対策)

にぎわいをつくる

◎ 広域的な交流の支援

広域交流が可能な道路ネットワークを構築し、地域の広域的な活動機会の増大を支援

- ・ 高規格幹線道路、地域高規格道路等の整備による広域交流施設等へのアクセス強化

◎ 地域連携の強化

地域間を連絡する道路ネットワークを構築し、地域の活発な交流・連携を支援

- ・ 地域間を連絡する幹線道路等の整備による都市間相互の連携強化
- ・ 圏域中心都市へ連絡する幹線道路等の整備による地域間の連携強化

◎ 歴史・文化を大切にし、景観に配慮

歴史や文化、景観を活かした良好な道路空間を形成し、個性のある地域づくりを支援

- ・ 歴史・文化資源を活かしたみちづくりによる美しい景観と賑わいの創造
- ・ 緑や花など道路の緑化推進による美しい景観の創出

発展をみちびく

◎ 観光産業の活性化を支援

観光交流を促進する交通基盤の整備を図り、観光産業の活性化を支援

- ・ 主要交通拠点からのアクセス強化、観光地間の移動時間短縮

◎ 地域経済の活性化を支援

産業交通の利便性を高める道路ネットワークを構築し、地域経済の発展を支援

- ・ 港湾・企業団地との連携強化による物流の効率化
- ・ 高速交通ネットワークの構築による産業の活性化

○現状

国道2号

◎ 岩国市中心部から大竹市方面

- ・慢性的な交通渋滞が生じている。
- ・「岩国大竹道路」を建設促進していただいているが、供用開始予定が平成20年代半ばとされていたものが、最近では平成30年頃と修正された。
- ・一般国道2号における新港町4丁目交差点付近の旅行速度は山口県下ワースト1で、混雑の度合いでも県内でトップクラスである。

◎ 岩国市中心部から周南市方面

- ・この区間は主要幹線道路が国道2号(2車線)しかない。
- ・異常気象時通行規制区間(連続雨量250mm規制 1.9km)に指定されている。
- ・平成16年の台風16号の影響で道路が陥没し、全面通行止めとなった。また翌年の台風14号においては、国道2号の陥没による全面通行止めだけでなく、国道2号のバイパス的な役割の県道岩国玖珂線(通称「欽明路道路」)も崩落し、さらに山陽自動車道も大規模に崩落したため、周南市から大竹市までの幹線道路は完全に分断された。

国道188号

◎ 岩国市中心部から柳井市方面

- ・慢性的な交通渋滞が生じている。
- ・特殊通行規制区間(波浪による路面冠水規制 14km)に指定されている。
- ・芸予地震被害や台風被害などで長期間通行止めとなった。

○課題

- ・岩国市民は「岩国大竹道路」の1日でも早い開通を渴望している。
- ・供用開始予定年度が大幅に遅れれば、市民の機運が下がり、失望感、周辺関係住民の事業への理解度が低下する恐れがあり、事業進捗にも影響が出る可能性がある。

- ・現道は錦川沿いの急峻な山の麓をたどる2車線の国道であり、拡幅改良は地形的に相当困難。また、国道2号のバイパス的役割の県道岩国玖珂線は道路規格も低く、災害に対して脆弱なため国道2号バイパスの建設が急務である。

- ・現道は急峻な山の麓にJR線路と平行して走る2車線の国道で前面は瀬戸内海が広がっている。また、道路沿いには家屋や商店が連担していることから拡幅改良は相当困難であるため、緊急時や災害時の緊急輸送道路としてバイパスの建設が急務である。

岩国市は、道路交通網と情報通信網を整備して、地域内の生活や産業の交流を活発化するとともに、山口県の各地域及び隣接する広島県や島根県さらには、全国や世界と、経済・文化等で広域交流に取り組み、交流を通じた地域活性化を推進しています。

それにより、豊かな自然と都市が共生した活力と交流にあふれる県東部の中核都市を目指しています。

しかしながら、山口県下において国道2号のバイパス建設や一次改築のまま改築がなされていないのは岩国地域のみであり、地域の活性化、広域交流等を促進するためには、国道188号のバイパスも併せて整備推進する必要があります。

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
◎都市交通の快適性、利便性の向上	平成20年3月、一般国道188号岩国南バイパスが開通	・国道188号の渋滞緩和に大きな成果を上げた。 ・交通量がバイパスに大きく転換し、並行する国道188号(現道)の主要渋滞ポイントが3箇所一気に解消された。 ・抜け道として利用されていた生活道路の車が減り安全性が向上した。 ・緊急時の救命率が向上した。 ・市民の交流が活発になった。 ・市営バスの定時性が向上した。 ・開通された前後区間の早期着工・早期開通が期待される。	
◎地域活力の向上	「岩国大竹道路」の建設促進	・開通後は岩国市街から大竹市街までが約17分短縮される予定。(一般国道2号における港町4丁目交差点付近の旅行速度は山口県下ワースト1、混雑の度合いは県下トップクラス) ・観光産業、地域経済の活性化が期待される。 ・岩国・大竹の連携強化、広域的な交流が促進される。	
◎総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	国道2号バイパス(岩国玖西連絡幹線道路)の建設 国道188号バイパス岩国柳井間地域高規格道路(岩国南バイパスの南伸)の建設	・高度医療施設へのアクセス強化が図られる。 ・緊急輸送道路として確保される。 ・既設道路施設の防災対策が推進される。	
◎少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	国道2号、国道188号のマウンドアップ形式の歩道解消及び幅広歩道への改修	・人にやさしい歩行空間が創出される。 ・あんしん歩行エリアが整備・推進される。 ・ユニバーサルデザインに配慮した施設整備が推進される。	
◎計画的・効率的な維持管理や更新の推進	事業遂行のスケジュール管理の徹底	・事業実施のスピードアップにより事業効果の早期発現が図られる。 ・事業費が軽減する。 ・市民の事業協力に向けた機運が盛り上がる。	
◎地域間格差の是正	現行の「費用対効果」(B/C)の評価基準について	・道路整備における事業評価手法の見直しを行うにあたっては、地域間競争の前提が整っていない地方部においては、単にB/Cで評価するのではなく地域の実情・意見を十分に認識して評価していただきたい。	